

近代トルコのグローバル化

21911373 山田祐輔

発表テーマ：近代トルコのグローバル化

問題関心：ヨーロッパの仲間入りをしたいトルコだが、イスラムを捨てきれないところに文化的にも政治的にも魅力を感じ、世俗主義を掲げながらイスラム政党が台頭してきているという点が矛盾しており疑問に思った。

発表内容：世俗主義を掲げ、イスラム教を国家から切り離した存在として扱ったトルコにおいて、近年のイスラムへの回帰はなぜ起こったのか、近代国家としての建国の歴史と EU 加盟交渉といったグローバル化を目指す視点から明らかにする。

結論：世俗化を理念に建国されたトルコ共和国においてイスラム政権が樹立し、イスラムに回帰した要因として 1.共和国建国時の強硬的な世俗化 2.冷戦期での欧米諸国への不信感 3.AKP の親イスラム的政策によるトルコ国民の支持 4.EU 加盟や難民問題での EU の不誠実な姿勢といった要因からトルコはイスラムに回帰したと考えられる。